

広島ユネスコ協会設立 50 周年記念の集い

SDGs 推進 平和へ、強め広げよう“市民の声”



広島ユネスコ協会設立 50 周年記念の集いは、3月3日、広島市長松井一實氏、日本ユネスコ協会連盟理事長鈴木佑司氏、広島県ユネスコ連絡協議会会長池野範男氏を来賓に迎え、原爆ドーム保存基金への寄付、活動奨励賞授賞式、記念講演会、ミニコンサートなどを晴れやかに開催。別会場にて祝賀会も催し、新たな出発を祝いました。

広島ユ協は、第二次世界大戦の反省の上に創設された国連機関・ユネスコの憲章に則り、1973年6月に最初はクラブとして発足。以来、平和運動推進の民間団体として、『高校生国際理解セミナー』や『ユネスコサロン』、『活動奨励賞』の授与、『平和の鐘を鳴らそう』の集い、『韓国ユネスコ大邱協会との交流』などを通し、ユネスコ活動推進に努めてきました。

記念式典

挨拶



広島ユネスコ協会
会長 松岡盛人 氏

来賓祝辞



広島市長
松井一實 氏

来賓祝辞



日本ユネスコ協会連盟
理事長 鈴木佑司 氏

来賓



広島県ユネスコ連絡協議会
会長 池野範男 氏

原爆ドーム保存基金へ寄付



広島ユ協は 50 周年を記念し、広島市原爆ドーム保存等事業基金へ「原爆ドーム絵はがき」の売り上げ代金の一部を寄付しました。

広島ユネスコ活動奨励賞受賞式

広島ユネスコ活動奨励賞は四半世紀を越えて、多くの皆様方のご支援とご協力をいただき、第 26 回目の授賞式を開催する事ができました。心より御礼申し上げます。



【学校部門】

広島市立三篠小学校

地域の歴史を学び、人々との交流や藍の栽培活動を通して、地域コミュニティの活性化を進め郷土愛を育む取組

広島市立砂谷中学校

地域の資源を生かし竹林整備や牧畜・農業への関心を高めるとともに、地域住民との協働で進める地域貢献活動

広島大学附属高等学校

1969年ユネスコ班設立以来、長きにわたり平和の大切さの発信を基に、生徒自身による様々な平和活動の実践

広島県立海田高等学校

地域社会との連携による国際交流や、日本独自の衣・食文化のよさを継承・発展させる等、多彩な活動を実践

広島文教大学 パパママ応援団ぶんこ

2006年から学生主体で進める、地域の子育て家庭を支援する「子育て広場」の開催や学外施設での地域貢献活動

【社会部門】

特定非営利活動法人宮島ネットワーク

宮島の自然保護を目的とし、長年地域住民と連携してアサリ浜の再生活動や海岸清掃・樹木保護等、自然と生物多様性を守る環境保全活動

講 評（一部抜粋）

選考委員長

広島大学大学院教授

由井義通 氏



由井選考委員長は、「第二次世界大戦後、今ほど世界中が平和な世界を渴望している時代はない」と前置きされ、ユネスコは平和の構築には教育が大事だとして設立された機関だからこそ、平和な社会の実現に向けたユネスコ活動の重要性が強調されるべきと力強く話されました。

本賞の選考にあたっては、「広島ユネスコ協会の主催による顕彰であることから、単なる学習活動や地域活動ではなく、ユネスコ精神の理念を踏まえた『平和の文化』を築く実践的な活動の育成という趣旨に基づき、活動内容の継続性や独創性、普及状況、社会や市民への活動の広がりなどの観点を重視して、審査を行った」と説明され、各団体の活動について、評価のポイントを次のように述べられました。

「広島市立三篠小学校の藍染体験や広島市立砂谷中学校の竹林整備などの郷土学習は、地域への愛着を育て持続可能な地域づくりへの取り組みを評価」

「広島大学附属高等学校は、高校生のクラブ活動としての20年以上の継続的な平和学習

の活動を評価」「広島県立海田高等学校は、地域との連携による伝統文化の継承・普及と国際交流・国際協力など多様な活動の取り組みを評価」「広島文教大学のパパママ応援団ぶんこは、長年にわたる学生の主体的活動による子育て広場の取り組みを評価」「特定非営利活動法人宮島ネットワークは、宮島の自然保護やアサリ再生事業、海岸の清掃活動など、地域の人々との共同作業が長年継続されていること」をそれぞれ評価されました。

由井委員長は最後に、「今後、国内外の多様な立場の人たちが協力しあってネットワークを広げ、互いに認め合いながら、地域の持続性に貢献できる、さらなる活動の展開と発信を期待している」と、これからの活動に期待を寄せてくださいました。

(教育部会長 坂本美智子)

記念講演

演題『国際情勢とG7広島サミット後の
広島への取り組み』

講師 公益財団法人広島平和文化センター
理事長 香川剛廣氏



講演で香川理事長は、ロシアのウクライナ侵攻やイスラエル・パレスチナ問題、G7広島サミット後の課題、核兵器禁止に向けての世論喚起、さらに地方自治体からなる平和首長会議の加盟都市の拡大、平和の文化づくりの推進などを訴えられました。

講演を聞き、「私たち一人一人は、手をこまねいているだけではなく、広島から平和の叫びを発信していかなければならない」と痛感しました。

(広報部会)

● [講演の詳細はこちらをクリックしてご覧ください。](#)

記念ミニコンサート

広島少年合唱隊の皆さんに出演していただきました。この合唱隊は1960年(昭和35年)に「少年の持つ歌声をのぼし、音楽を通して平和都市広島に街づくりに役立ちたい」という目的で誕生しました。構成メンバーは5歳から高校生までの男子約30名です。「しあわせになあれ」「地球星歌」などを歌っていただきました。

(文化部会長 高田幸子)





祝賀会

50周年記念の集いを終えて開かれた『祝賀会』は、活動奨励賞受賞者も交えて、明るく晴れやかに開かれました。参加者は「50周年」や「受賞」の苦勞、喜びを語りながら交流を深めました。

多山報恩会 中丸理事長へ感謝状

その中で、長年、広島ユ協を財政面で多大なご支援をいただいていた、多山報恩会の中丸直明理事長に、感謝状を贈呈させていただきました。

また、今回が26回となる活動奨励賞の賞状を毎回、文字に心を込めて一枚一枚、筆書きしてくださった足立柳子理事に、「思い出」を話していただきました。



感謝状贈呈



足立柳子理事



閉会挨拶
古田碩永副会長





総合司会
井尾義信参与



授賞式司会
坂本美智子教育部会長



祝賀会司会
吉岡康行さん

記念誌発刊

広島ユ協設立 50 周年記念事業の一つである記念誌も無事完成。未来を託す若者の活動紹介や各部会の取り組みなど、この 10 年間でまとめた記録集が、「50 周年記念誌」として発刊出来ました。サイズは A 4 判カラー刷り、34 頁建て。(広報部会長 岡平裕次)



みなさまお疲れさまでした。